



健康で生きていく力の 育成に向け活動

市川市立市川小学校が
県内初の「優秀校」を受賞!!

平成26年2月、日本学校保健会主催の健康教育推進学校表彰において、市川小学校が優秀校を受賞しました。これは、千葉県の小学校として初の快挙で、これまでの健康教育への積極的な取り組みが評価されたものです。

■ きっかけは、児童の体力低下から

以前の市川小学校は、街中にあるいわゆる「都会の学校」で、運動場も狭く、運動面での活躍はあまりみられませんでした。

そのような環境の中、鬼ごっこをしているときに、タッチされたことでバランスを崩し転んでしまう等で、保健室を利用する児童が絶えない状況でした。これは明らかに体力面の強化を必要としているサイン。そこで、「このままではいけない」と先生・児童・保護者がひとつになり、様々な取り組みがはじまりました。

「い」と先生・児童・保護者がひとつになり、様々な取り組みがはじまりました。

■ 児童みんなで話し合い、目標をつくる

まず、児童自らが「すこやか会議」で体力づくりについての方針を決め、目標に向かって活動を継続することを行いました。するとそれは、大人たちの想像を超え、何事にも自信をもって前に進むことができる「児童の自主性強化」という結果としてあらわれてきたのです。

このような取り組みが実を結び、その自主性は進化し続け、陸上大会・水泳大会・相撲大会などで好成績を収めています。

このように体力強化を目的として始めたこの活動は、誰も想像していなかった効果をも、もたらしたようです。



平成25年度市川市小学校陸上競技大会
総合優勝(三連覇達成)
総合優勝・女子優勝・女子跳躍賞・女子リレー賞

● 「学校が誇り、そして大好き」という子どもたちが私の誇り

今年で140周年を迎える「伝統あるこの学校が好き」という思いが、児童たちからも伝わります。そして、「記録をつなげ 記録をこえろ」をキャッチフレーズに、児童の頑張る姿を、未来につないでいきたいと思えます。と松井教頭先生がお話してくださいました。

● 市川小学校の取り組み(主な項目)

- ① 体育の授業の充実
 - ・授業のはじめに、各学年に応じた5~10分間のトレーニングを実施
 - ・年間指導計画の見直し
 - ・遊具を利用したサーキットトレーニングの実施
- ② 朝の体力作り
 - ・始業時間前に「縄跳びとジョギング」で体を動かす
 - ・児童が自分の取り組みを振りかえることができるカードを作成し、継続するための意欲づけをする(日本地図を使い、走った周回のみ分だけ都道府県の色を塗る)
- ③ 業間休み(わんぱくタイム)25分
 - ・月に1回、体育委員会が主催して「ミニスポーツ大会」の実施をする。
- ④ 縄跳びの奨励、長縄集会の実施
- ⑤ すこやか会議の充実
 - ・健康的な生活を送るために気をつけることを考え、発表する場。(保健給食・体育の3つの委員会が計画・運営、4~6年生全員が参加する)この会議で話し合われた内容が②、③、④等の活動に反映される。
- ⑥ 食育の充実
 - ・空豆の豆だし体験をして、それが給食の具材となる など



なわジョグ定点観測 天気:晴れ
平成25年11月20日(水) 8:00
参加者 約230人